

スタート!

楨二郎、副議長に篠崎久美子を選出

就任のご挨拶

行政機関とは 「二歩離れ、二歩離れるな」



議長 北澤楨二郎

この度の臨時議会において、後期二年間の議長として選任され、大役を務める事となりました。

非力ですが、副議長としての二年間の経験を生かし、重責を全うしてまいりたいと思っております。なお一層の村民の皆様のご支援御協力をお願い致します。

神城断層地震は人生の中で経験した事がない大変大きな出来事でありましたが、激甚災害地域に指定されたとは言え、復旧工事は始まったばかりであります。公営住宅の建設計画は、すぐにも進めなければならぬと思いますので、行政と議会が協力して、一日も早い着工を目指したいと考えております。

議会は「三元代表民主制」

のもと「是々非々で臨むべき」が原則であると思いますが、執行機関とは「二歩離れ、二歩離れるな」であります。近づきすぎていつになつてしまつては、批判も監視もできなくなります。逆に離れすぎても役割を果たせなくなります。町村行政は議会と執行機関の共同で進められるものがあります。厳しさの中に温かみのある言葉で批判し、説得力のある実現可能な具体的代案をもつて臨む事が、最も大切であると思っております。

議会は、住民全体の代表者でありますので、開かれた議会として、いつでも、どこでも、皆様の声や心に耳を傾けて参りたいと思います。

村民の皆様と行政と議会が一体となつて力を合わせ、この難局を乗り越えたいと思います。一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。就任の挨拶と致します。



副議長 篠崎久美子

五月の臨時議会におきまして副議長に選任され、若輩ではございますが、その重責を務めることとなりました。身の引き締まる思いですが、議長をよく補佐し、議会運営に尽力していく所存です。

当議会は現在、議会改革に取り組んでいます。議会は住民の意思決定機関であるという原点を忘れずに、軸足をずらすことなく、真に住民の期待に応える議会を目指したいと思ひます。時代や社会情勢の変化を背景に、議員、そして議会に求められる内容も厳しく変化しています。自己研鑽に励んで必要な知識を深め、私心を捨てて、建設的な意見を十分に重ねることのできる

真に住民の期待に応える 議会を目指して

る議会であるように、まず、議員自らが意識を変えなければ、改革は実現できないと考えます。

震災復興、観光客誘致、白馬高校、人口減少や雇用創出など様々な分野で緊急性の高い課題が山積しています。議会として、地域活性化や住民福祉の向上に寄与できるよう、努力してまいりたいと思ひます。

地域の宝である子どもたちのために、皆がともに協力して、よりよい村をつくることができました。と考えています。どうぞ、今後とも皆さまのご意見やご指導を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。